

国公私：単位互換用授業科目一覧

大学名：名古屋市立大学

2026(令和8)年度 後期 単位互換授業科目

曜日	時限	授業科目名	単位数	担当教員名	教室	備考
木	7	技術マネジメント	2	大神 正道	Zoomによるオンライン	※後期授業開始日：10月2日(金)～

授業時間帯

【1時限】 9：00～10：30

【2時限】 10：40～12：10

【3時限】 13：00～14：30

【4時限】 14：40～16：10

【5時限】 16：20～17：50

【6時限】 18：20～19：50

【7時限】 20：00～21：30

シラバス詳細

タイトル「2026 大学院シラバス」、カテゴリ「経済学研究科」

和文 (Japanese)

英文 (English)

科目情報

科目名

技術マネジメント

講義名

技術マネジメント

サブコード名

担当教員

大神 正道

実務経験のある
教員による
講義

キャンパス区 分

滝子

開講学期

後期

開講時期

後前 ～ 後後

曜日・時限

木 7

講義室

_____、 _____

科目種別

講義

科目区分

経営系

単位区分

選

単位数

2

準備事項

備考

直接参照URL

https://lcu.nagoya-cu.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?

講義情報

授業の目的・目標

本講義は、経営学分野の技術マネジメントや定性的な方法論に関する文献（主に英語論文）の理解を目標とする。

ディプロマ・ポリシーとの関連

学識・知見：経営学分野の論文を書くための基礎的な能力を身につける

キーワード

イノベーション、技術変化、技術進化、定性的研究

遠隔授業科目

遠隔授業科目（全開講回数の半数以上を遠隔授業で実施する科目）

学修到達目標

本講義における学習到達目標は大きく三つある。第一は輪読する文献の主張を理解することである。第二は、第一の目標と関連するが、輪読対象の文献（特に論文）の構成や論理、まとめ方を学ぶことである。第三は文献を読むことで自分なりの問題意識を育てることである。

授業概要

本講義は授業計画の欄に提示した文献を読む予定である。授業では発表担当者が作成した発表資料をもとに議論を行う。その他の受講者は毎回レジュメ（最大2000字程度）を作成・提出する必要がある。

授業計画

本科目は遠隔授業形式（ZoomもしくはTeams）で実施する（全講義回）。経営学分野の定性的研究に関する方法論について学んだ後、実際の定性的研究の論文や、受講者の興味にあわせた文献を輪読する予定である。

定性的研究の方法論に関する文献（例）

[1]井上達彦 (2014) 『ブラックスワンの経営学—通説をくつがえした世界最優秀ケーススタディ』 日経BP社.

[2]Eisenhardt, K. M. (1989). Building theories from case study research. *Academy of Management Review*, 14(4), 532-550.

[3]Langley, A. (1999). Strategies for theorizing from process data. *Academy of Management Review*, 24(4), 691-710.

[4]Flyvbjerg, B. (2006). Five misunderstandings about case-study research. *Qualitative Inquiry*, 12(2), 219-245.

定性研究の論文（例）

[5]Bechky, B. A. (2003). Sharing meaning across occupational communities: The transformation of understanding on a production floor. *Organization Science*, 14(3), 312-330.

[6]Tripsas, M. (2009). Technology, Identity, and Inertia Through the Lens of "The Digital Photography Company". *Organization Science*, 20(2), 441-460.

[7]McDonald, R. M., & Eisenhardt, K. M. (2019). Parallel play: Startups, nascent markets, and effective business-model design. *Administrative Science Quarterly*, 65(2), 1-41.

授業時間外の学修（準備学習を含む）

毎回、事前に輪読文献を読み、要約を作成して参加ことが前提になる。

成績評価基準

授業参加姿勢を考慮の上、発表と提出課題について、①輪読文献の内容について説明できるか、②輪読文献の貢献について説明できるか、③輪読文献について批判的に検討できるか、④修士論文やリサーチペーパー作成のために輪読文献を活かすことができるかという基準で評価する。

成績評価方法

受講者には最低論文1本（著書の場合は最低1章）についての発表を求める。また、発表担当ではなくてもレジュメ（A4サイズ1～2ページ程度）を7割以上（発表担当分を含む）提出し、ディスカッションに参加することが単位取得の要件となる。

教科書・テキスト

参考文献

近能善範・高井文子(2024)『コア・テキスト イノベーション・マネジメント 新訂版』新世社.

延岡健太郎(2006)『MOT[技術経営]入門』日本経済新聞社.

履修要件

履修上の注意事項

履修者への要望事項

定性的研究の方法論を用いた修士論文やリサーチペーパーの作成を考えている学生の受講を希望する。

アクティブ・ラーニング

連絡先・オフィスアワー

ogami[at]econ.nagoya-cu.ac.jp

※[at]を@(半角)に置き換えてください。

原則として水曜日12:10-13:00(3号館4階424研究室)

※事前に連絡があれば他の日時でも対応可能。

実務経験を活かした教育の取組

備考

関連URL

【後 期】

	日	月	火	水	木	金	土	学 事
10 月					1	2 ①	3 ①	2 後期授業開始 12 スポーツの日【授業開講日】
	4	5 ①	6 ①	7 ①	8 ①	9 ②	10 ②	
	11	12 ②	13 ②	14 ②	15 ②	16 ③	17 ③	
	18	19 ③	20 ③	21 ③	22 ③	23 ④	24 ④	
	25	26 ④	27 ④	28 ④	29 ④	30 ⑤	31 ⑤	
11 月	1	2 ⑤	3 ⑤	4 ⑤	5 ⑤	6 ⑥	7 ⑥	3 文化の日【授業開講日】 23 勤労感謝の日【授業開講日】
	8	9 ⑥	10 ⑥	11 ⑥	12 ⑥	13 ⑦	14 ⑦	
	15	16 ⑦	17 ⑦	18 ⑦	19 ⑦	20 ⑧	21 ⑧	
	22	23 ⑧	24 ⑧	25 ⑧	26 ⑧	27 ⑨	28 ⑨	
	29	30 ⑨						
12 月			1 ⑨	2 ⑨	3 ⑨	4 ⑩	5 ⑩	24-1/6 冬季休業期間
	6	7 ⑩	8 ⑩	9 ⑩	10 ⑩	11 ⑪	12 ⑪	
	13	14 ⑪	15 ⑪	16 ⑪	17 ⑪	18 ⑫	19 ⑫	
	20	21 ⑫	22 ⑫	23 ⑫	24	25	26	
	27	28	29	30	31			
1 月						1	2	7 後期授業開始 15 大学入学共通テスト準備のため休講 16・17 大学入学共通テスト(滝子キャンパス立入禁止)
	3	4	5	6	7 ⑫	8 ⑬	9 ⑬	
	10	11	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬	15	16	
	17	18 ⑬	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑭	23 ⑭	
	24	25 ⑭	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮	29 ⑮	30 ⑮	
31								
2 月		1 ⑮	2 試補	3 試補	4 試補	5 試補	6 試補	1 後期授業最終日 2-8 後期補講期間・後期期末試験 25・26 (学部)前期日程入学試験(滝子キャンパス立入禁止)
	7	8 試補	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28							
3 月		1	2	3	4	5	6	8 (学部)中期日程入学試験 (滝子キャンパス立入禁止) 12 (学部)後期日程入学試験
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				

は、学部等事務室業務を取り扱いません。○は、講義開講日(数字は講義回数)です。

※国民の祝日に関する法律に規定する休日は学則で休業日とされていますが、後期授業回数確保のため10月12日(月)、11月3日(火)、11月23日(月)を授業開講日とします。